



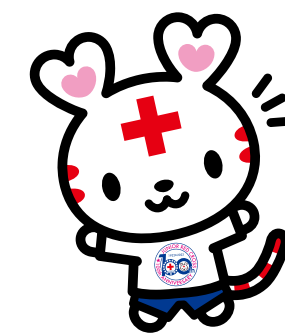
# あいち青少年赤十字

No.140  
令和6年2月発行

日本赤十字社愛知県支部  
〒461-8561 名古屋市東区白鷺一丁目50番地  
TEL(052) 971-1599 FAX(052) 971-1590  
ホームページアドレス <https://www.jrc.or.jp/chapter/aichi/>

人間を救うのは、人間だ。 Our world. Your move.

一緒に考えよう ～今わたしたちができることを～



## 車椅子でハンティングワード

名古屋市立名古屋商業高等学校JRC部 1年 宇田 千紘  
西井 小梅

私たちは車椅子の取扱講座に続き、車椅子に乗る人の生活を体験するため、地図を頼りに校内に隠されている文字を探すゲームをしました。教室は机という障害物で狭く、敷居レールは通りにくく、また高いところが見づらいこともわかりました。特にすのこの昇り降りは介助者がいないとできませんでした。これらのことを多くの人に知ってもらい、「物の障害」をなくし、誰もが過ごしやすい社会にしたいと思いました。



〈「し」車椅子では利用しにくいトイレ〉

## 心と心をつなぐメッセージ

名古屋市立八幡小学校 2年 恒川 咲栄

老人ホームにいるおじいちゃんやおばあちゃんに手作りの年賀状を送る「愛の年賀状」活動をしました。年賀状には、「少しでも元氣になってもらいたい」「喜んでもらいたい」という思いを込めてメッセージを書きました。これからは、おじいちゃんやおばあちゃんが元氣に過ごしてもらえるように、何か困っていたときには助けたり、優しく声を掛けたりしていきたいと思っています。



〈手作りの年賀状づくり〉

## 命を守る

江南市立北部中学校 2年 大脇 愛美

福祉実践教室では、点字教室に参加し、視覚障がいの方の話を聞きました。私たちが普段見ている点字ブロックは、視覚障がいの方にとっては目の代わりであり、命を守る大事なものであることを知り、扱いには十分に気を付けたいと思いました。

視覚障がいの方のみならず、困っているすべての人に、優しく声をかけられる人になりたいという思いを強くしました。



〈点字教室〉

## つながる絆

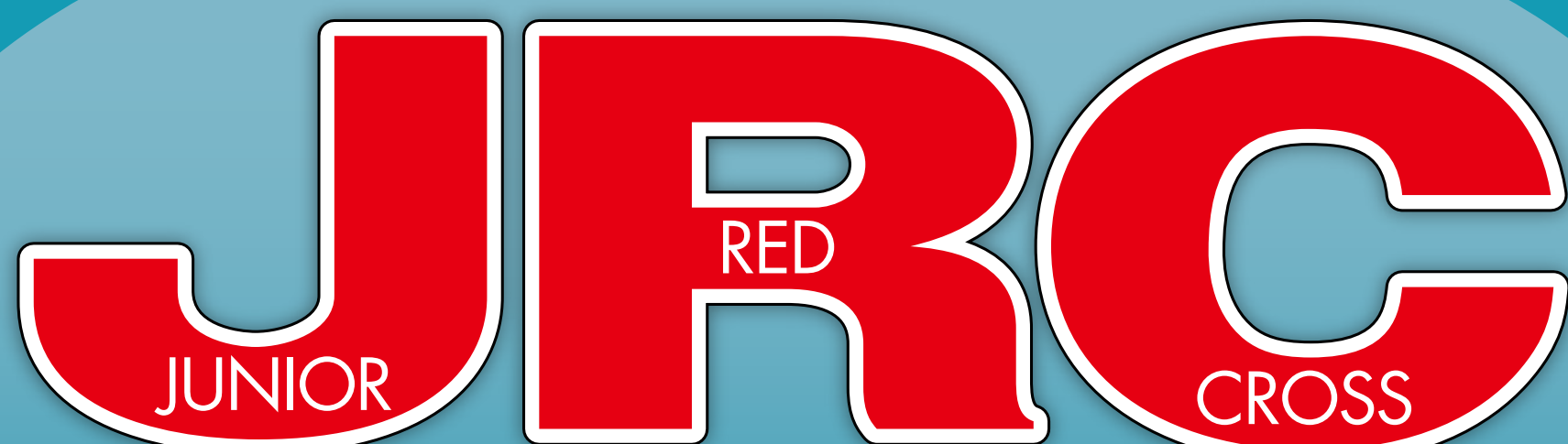
半田市立半田中学校 3年 関 瑛穂

地域ささえあい活動を通して、地域のサロンにボランティアスタッフとして参加しました。1年半ほど継続的に参加するうちに、顔を覚えてもらえて、地域のあたたかさに触れることができました。今思えば、それは繋がれてきた絆が交流を通して自分にも繋がったということだと思います。

「今後の担い手がない。」他のボランティア先でも聞いた言葉です。変わりゆく社会でも、ボランティアで繋がる絆を未来まで繋いでいけるように、少しでも「繋ぐ人」になれるように、これからもボランティアに取り組んでいきたいです。



〈地域のサロンでボランティア活動〉



## 地域のために

豊橋市立南部中学校 2年 林 沙希

地域美化活動の一環である「南部清掃隊」を通して、掃除への意識を高めることや、ふだんお世話になっている地域へ貢献することの大切さを学びました。

実際に清掃をしてみても、地域の公園は利用者が多いぶん、目の届かないところにごみがたくさん落ちていることに気づくことができました。小さな子どももたくさん遊んでいるので、その子たちも安全かつ快適に利用できるようにしていきたいと思っています。



〈地域の公園で南部清掃隊の活動をしているようす〉

## 挨拶で人とつながる

岡崎市立常磐南小学校 6年 大塚 弘翔

人とのつながりをつくり、よりよい関係を築いていくために挨拶運動を行いました。挨拶運動の期間は、普段よりも自分から元気に挨拶をしている子が増えたので、ぼくが思う挨拶のよさ「人との関わり」をお互いがもっと感じられるようにしたいと思いました。そのためには相手の名前を呼んで挨拶ができるとよいと思います。学校の友達だけでなく地域の方の名前も覚え、みんなが進んで挨拶をできるようにしたいです。



〈朝の挨拶運動〉

## 相手を思う気持ち

刈谷市立小高原小学校 6年 神谷 唯斗

福祉実践教室を通して、障がいをもつ方の大変さを実感しました。僕は、目の見えない方の体験をしました。障がい者役とガイド役に分かれて体験したことで、互いの気持ちを理解することができました。この体験から、それぞれの相手を思う気持ちの大切さに気付くことができました。これからは、この経験を生かして、相手を思う気持ちを前より強くもち生活に生かしていきたいと思っています。



〈視覚障害者体験〉

## 僕の大好きな町

豊田市立藤岡中学校 2年 范 浩毅

僕は地域のふれあいフェスタに、ボランティアスタッフとして参加しました。スタッフとして活動したり、舞台上で演奏を披露したりしていると、地域の方が何度もあたたかい声をかけてくれました。僕はこのボランティア活動を通して、僕の住むこの町がもっと好きになりました。そして、人と人とを繋いでくれるボランティアが大好きです。今後も、地域の一員として、人のために、地域のためにボランティア活動に挑戦します。



〈藤岡地区ふれあいフェスタの様子〉

## 支部通信

気づき・考え・実行する  
青少年赤十字



〈ゆかたで大相撲見学〉

愛知県支部の青少年赤十字は、2007年度からモンゴル赤十字社の青少年赤十字と国際交流を行っています。今年度の国際交流の後半の様子を写真で紹介しします。今後も青少年赤十字では海外のメンバーとの交流を通して、「国際理解・親善」を深めていきます。

【後半の主な交流活動】

○7月15日

・ウエルカムパーティー→ロッジステイ

○7月16日

・しぼりぞめ体験→うかい船体験

○7月17日

・しようにゅうどう見学→食品サンプル作り

○7月18日

・ゆかた着付け体験→名古屋城見学

→大相撲見学

## モンゴルの青少年赤十字メンバーとの国際交流（後半）



〈ウエルカムパーティー〉



〈海の近くでロッジステイ〉



〈しぼりぞめ体験〉



〈うかい船体験〉



〈ゆかたで名古屋城見学〉